

第7回

東西外国語大学
交歓演奏会

Rainbow Arch

東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユ

Club Song

一条亮子 詩

木村琢也 曲

一、真夏の白き地
求め座りし木陰
汗拭うに出でたる言葉の
そこはかたなく重なりて
節となる
其も加わるか
我らの声 湧く所

二、真冬の厚き雲
光ひとすじ漏れ出づ
見上げるに交わせし言葉の
覆いかぶさり広がりに
和となる
耳傾けよ
我らの声 響く所

大阪外国語大学グリークラブ

Gaigo will shine tonight
Gaigo will shine!
Gaigo will shine tonight
all down the line!
Gaigo will shine tonight
Don't they look fine!
When the sun goes down
and the moon comes up
Gaigo will shine!

Varsity
Varsity! Varsity!
Osaka Gaikokugo Daigaku!
Praise to thee we sing,
Praise to thee our alma mater
U. Rah Rah!
Osaka Gaidai!

大阪外国語大学女声コーラス部

Club Song

The song the sirens sang is ours to sing again,
But not for destruction, not for grief and pain,
We sing a hopeful world of love and joy made free,
The Osaka Gaidai Girls' Chorus are we.

Varsity

Varsity! Varsity!
Osaka Gaikokugo Daigaku!
Praise to thee we sing,
Praise to thee our alma mater
U. Rah Rah!
Osaka Gaidai!

御 挨拶

本日は、お忙しい中第7回東西外国語大学交歓演奏会——Rainbow Arch——にご来場くださりまして誠にありがとうございます。

さて、私たちは今回の演奏会を開くにあたって、改めて過去を振り返ってみました。つまり、二年に一度開かれてきたこの演奏会に、何を求めてきたのか、また、何を得られたかについて考え直してみました。15年ほど前、この演奏会を始めるきっかけとなったのは、やはり、東西の外国語大学という縁からであると思われます。そして、互いの演奏を聴き、共に歌い、喜びや感動を得るばかりでなく、互いの演奏をより感動的なものにするための契機をも得てきたのです。東西の各団にとって、この演奏会の役割はやはり大きいと感じました。15年前に蒔かれた「縁」という種が、二年ごとに東西を結ぶ「演奏会」というかけ橋“Arch”を実らせ、そして今回7本目のArchが実り Rainbow Archとなるわけです。第〇回演奏会というのは、回を重ねるごとにマンネリズムに陥りがちなのですが、私たちは惰性に頼ることなく、常に当初の意義を振り返りつつ、各回で得られるものを大切にしていかなければならないと実感したのです。このサブ・タイトルには、私たちのこのような思いが込められています。合同演奏の指揮者、山本先生は15年前私たちの先輩と共に種を蒔いてくださった方です。また、今日のこの会場は元大阪外大の地でもあり、今回の演奏会はまさに初心に戻るための絶好の機会であるように思います。

最後になりましたが、この演奏会を開催するにあたりご指導して下さった諸先生方、関係者各位に、厚く御礼申し上げます。

東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユ

大阪外国語大学グリークラブ

大阪外国語大学女声コーラス部

部員一同

東京外国語大学学長

原 卓 也

大阪外国語大学のグリークラブ、女声コーラス部と本学の混声合唱団コール・ソレイユとの交歓演奏会も、今年で第7回を迎えるということです。前回の第6回交歓演奏会が3年前になるのでしょうか。あの時、プログラムに大阪外国語大学からのメッセージを寄せておられたのは、現在の池田修学長ではなく、山田善郎前学長でした。時は流れ、代は替わっても東西外国語大学の交流はますますさかんになり、着実につづいています。実にすばらしいことです。

両外大の間では、毎年秋に催される定期競技大会があります。こちらはさすがに歴史が古く、昨1994年で第46回を迎えました。23種にのぼるスポーツ種目で、両外大の選手諸君がファイトを全身にみなぎらせ、日頃の鍛練の成果を競い合う姿は、まさに青春のエネルギーに充ちみちていてすがすがしい感じです。

これを「動」とするならば、両外大のコーラスの交歓演奏会は「静」であり、きわめてエレガントです。是非今回もみごとなハーモニーを創りだして、満場の聴衆を魅了してくださいを祈ります。

大阪外国語大学学長

池 田 修

東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユと大阪外国語大学グリークラブおよび女声コーラス部とによる東西外国語大学交歓演奏会が7月29日、くしくも大阪外大発祥地にある大阪国際交流センター大ホールで開催の運びとなったと聞き、心からお喜び申し上げます。兄弟校とともに学ぶ学生諸君が、このような芸術の分野で交流を深め、相互の理解をはかり、友情を強めることは、おおいに意義があると確信しております。

ご承知のように、両外大はスポーツの面では伝統的とも言える対抗戦を毎年行なっており今年で47回目を迎えることになっております。この演奏会は7回目ということで、こちらも次第に伝統と呼ばれるにふさわしい文化交流事業になるものと期待しております。これを企画し、実行するまでに払われた関係者の努力に対して敬意をあらわします。

男声、女声、混声と多彩なこの演奏会においては、皆さんが日頃磨かれた技量を存分に発揮され、満堂にかぎりない感動を呼び起こすものと期待しております。なにはともあれ演奏会の成功を祈っております。

Message

東京外国語大学混声合唱団
コール・ソレイユ顧問

箕 浦 信 勝

思い返せば私がコール・ソレイユの一年生部員として第2回交歓演奏会の舞台に立ってから11年。時の経つのは早いものです。入部したてで、「コール・ソレイユは10年前にできたんだよ。」と聞いたときは、「そんな昔の人が創ったのか。」などと思っていたのですが、そのあとの10年はあっという間に過ぎてしまいました。これからも、コール・ソレイユの歴史、交歓演奏会の歴史は10年、20年とあっという間に過ぎていき、そして新入部員は「そんなに長い伝統があるんだ。」と感嘆し続けるのでしょう。

ところで私は、毎夏研究のためアラスカに行きます。現地のとある本屋で、アメリカ各地の合唱団による合唱のCDを発見すると、あるだけ全部買いたい衝動に駆られ、実際にはそのうち何枚か買い求めてきます。決して上手い団ばかりではないのですが、なにか心にしみるものがあります。——演奏会の成功を異国の空の下で祈念しております。

大阪外国語大学
グリークラブ顧問

高 田 博 行

第7回東西外大ジョイントコンサートの開催おめでとう。

在学中に他の大学と交流する機会是一般にそれほど多くはないものですが、東京外大と大阪外大とは伝統的に文化・スポーツのクラブ活動のなかで交流することがお互いに最も多い大学同士であると思います。興味と関心が最も共通している、理想的な意味でのライバルとして今日のコンサートでも張り合いながら、また協力しながら一緒になって、ハーモニーを交歓して下さい。そのなかで大阪外大グリークラブが、あのチームワークの良さをもって、日頃の練習の成果を十分に発揮できることをここから祈ります。今回も、大阪外大グリーの伝統である「荒削りさ」と「巧みな企画力」と「英語のそれらしさ」を、十二分に見せつけてほしいと思います。自ら感動し、そしてわれわれを感動させて下さい。

大阪外国語大学
女声コーラス部顧問

赤 木 富 美 子

第七回東西外国語大学交歓演奏会によせて

かつて、女性だけによる部活動をはじめると言ってひとりの女子学生が、研究室を尋ねてこられた時、私は時代の変化に実に新鮮な驚きを感じたものだった。あれからもう20年以上、この交歓会だけでも、七回を数える。ここまで活動が発展したのか、と目をみはる思いである。十八世紀のフランスは、世界で類がないほど女性の活躍したことで有名だが、それらの女性たちは、男のアミをつくるより、女の友達をつくれ、を合い言葉に互いに確かなネットワークで、社会を動かしたという。日本では無理なことだと思っていたが、そこここに、こうした活動が見られる現代である。

振り返れば、女声コーラス部はいつも時代の先端の息吹を感じさせてくれた。今年もまた、さわやかに時代の変化を告げてくれるかと楽しみである。ますます輝く未来をお祈りしている。

Program

エール交歓

I. 大阪外国語大学グリークラブ

NEGRO SPIRITUALS

Bones Come A-Knittin'

Little Innocent Lamb

Po' Mourner's Got a Home at Last

Soon One Mawnin'

Ready When He Comes

Wade in de Water

Little David, Play on yo' Harp

指揮 松 波 大 介

II. 大阪外国語大学女声コーラス部

女声合唱組曲「海鳥の詩」

オロロン^{ちょう}鳥

エトピリカ

海^{うみ} 鷗^う

北の海鳥

作詩 更 科 源 蔵
作曲 廣 瀬 量 平
指揮 遊 田 有 香
伴奏 塚 本 幸 枝

III. 東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユ

「はだか」—混声合唱とピアノのための—

むかしむかし

ひとり

はだか

き み

作詩 谷 川 俊 太 郎
作曲 鈴 木 輝 昭
指揮 鈴 木 成 夫 子
伴奏 山 内 知 子

Intermission

IV. 合同演奏

混声合唱組曲「青春のネガティブ」

どこにも存在しない街へ

まだ見ぬ人に

愛のネガティブ

架空の時を

反 語

作詞 片 岡 輝
作曲 新 実 徳 英
客演指揮 山 本 壽 太 郎
客演伴奏 栗 田 清 隆

大阪外国語大学グリークラブ



我々大阪外国語大学グリークラブは、人数が少ない団ではあるが、それを補って余りあるぐらいの個性的な部員に支えられ、パワーはいまだ健在である。

箕面の山奥にたたずむ外大の中で、さらに一段高い所にあるサークルBOXが我々の練習場所である。授業が終わると、バイクを持っていない人間はテクテクと坂道を登らなければならない。空気が薄いので、肺活量を鍛えるには絶好の条件である(嘘)。練習室の中はというと、壁には所々穴があき、カーペットもすっかり古びていて、お世辞にも奇麗とは言えない。風通しは最悪で、ちょうど今ぐらいの時期は蒸し風呂状態になる。このような条件下で、厳しくも楽しい練習に励んでいる。

また、我々は練習が終わった後でも、精神力の鍛練をしている。例えば「ジュース・ジャンケン」。読んで字の如く、ジャンケンに負けた者が全員の分のジュース代を払わなけ

ればならない、という非常にシビアな競技である。「グリーメン、3人寄ればジュース・ジャンケン」という名言もあるぐらいで、過去にも背水の陣で勝負に臨み、無惨にも散っていった先輩方は多い。面白いもので、負けやすい人と負けにくい人に見事に分かれる。ここでは各人の集中力や勝負度胸(＋経済的執着心)が試されるのだ。

こうした普段の有意義な(?)活動も、我々のパワーの源である。そして今日も、BOXへの坂道を歩いて、いや、登っていくのであった。

♪指揮者

松 波 大 介



松波大介、20歳。またの名をピョートル・ドミトリー・ロストロポーヴィッチ。現在、大阪外国語大学ロシア語学科に在籍しているが、実は外大にペレストロイカを起こすべく、日本に密入国してきた元KGB要員である。コードネームはピロシキ。その正体をカモフラージュするため、かつてのレニングラード・フィルやブーニンなどの名演奏を聴いて培った音楽性を利用し、同大学のグリークラブ正指揮者に就任、さらに今回のコンサートの実行委員長まで務めている。

普段はというと、やはり彼は目立つのを恐れているためか、外大のある箕面近辺に居を構えるのは避け、はるか離れた富田林に潜伏。大阪弁を必死で覚えるが、どうも上品に聞こえるのはキエフ訛りが混じるせいだ。そういえば、入学以来女性関係で浮いた話を全く耳にしないのも、やはり目立った行動を控えているためなのだろう。果たして、彼の隠密行動が実を結ぶのはいつのことだろうか。

Message

ヴォイス・トレーナー
林 誠

恒例となったこの交流会も早や7回を重ねるという。この伝統ある企画では、各団の特徴ある選曲がなされる事は当然であるが、利便になったとは言え、関東、関西で別々の活動をする学生諸君が、同じ目標に向かう活動を展開する。

今回は合唱音楽の大先達、山本壽太郎氏の許、青春のネガティブが演奏される。第5回の合同演奏を指導した小生には、河口湖畔での合宿練習はじめ、長期にわたる運営における学生諸君の配慮ある手際良い動きが今も楽しい思い出となっている。

良き伝統のもと、美しい時の流れる事を。

NEGRO SPIRITUALS

大航海時代、経済・文化の大規模な交流によって、(西欧価値体系という国際社会からみても)世界はかなり広がった。この「世界」拡大をもたらした経済交流の一つとして、奴隷貿易が行なわれ、多くの黒人がアフリカからアメリカに送りこまれた。彼らを待っていたのは激しい労働と豚にも劣るような惨めな生活であった。その黒人達の心の支えとなったのが、キリスト教であった。彼らは、すべての者に訪れる死——それは全ての苦しみからの解放を意味する——を肯定的にとらえ、その後、“the promised land(約束された地)”すなわち“Heaven(天国)”に行き、幸せになろうと願っていたのである。アメリカでの異文化——キリスト教=聖書——で得た題材から自分達の心の叫びを見だし、白人たちの歌とアフリカの歌とを結びつけた音楽によって表現されたものが、NEGRO SPIRITUALS(黒人霊歌)である。

* * * * *

私たち外語グリーは、70年近くこの黒人霊歌を演奏し続けてきた。大人数の団構成のもとで歌い継がれた曲が多く、今回も選曲、技術的な面で頭を悩ませた。しかし、元来、必ずしも大人数で歌われたわけではなく、私たち一人一人の思いを胸に歌い上げれば、黒人霊歌のメッセージは必ず伝わるものであると信じる。

1. Bones Come A-Knittin'

Go down, go down, Ezekiel, to the valley!
Go down, go down, go down and prophesy!
Oh, Lord! Thou who know-est.
Will these dry bones live again?
Wind blow, bones come a-knittin'.
Wind blow, footbone come a-knittin'.
Wind blow, toebone come a-knittin'.
Anklebone, shinbone, kneebone, hipbone, backbone,
wishbone, shoulderbone, hambone,
Knit by knit, knot by knot,
Singer by singer an' a jint by jint.

2. Little Innocent Lamb

Little Lamb, little Lamb, little innocent Lamb,
I'm a-gonna serve God till I die,
Hypocrite, Hypocrite, Tell you what He do,
He'll talk about me, an' He'll talk about you,
Debbil, He's got a slippery shoe,
Now if you don't mind, He gonna slip it on you,
'Cause dere ain' no dyin' ober dere, in dat hebbently lan'
Dere'll be joy!
Jes take one brick from Satan's wall,
Satan's wall gonna tumble an, fall!
Little Lamb, little Lamb, little innocent Lamb,
I'm a-gonna serve God till I die,
'Cause dere ain' no dyin' ober dere, in dat hebbently lan'
Dere'll be joy!

3. Po' Mourner's Got a Home at Last

O, my Lord, Po' mourner's got a home at last,
O, mourner, Ain't you tired o' mournin' ?
O, sinner, Ain't you tired o' sinnin' ?
Bow down on-a yo' knees an' join de band ob de angels.
No harm, Go tell Brudder Elijah,
No harm, Po' mourner's got a home at last.

4. Soon One Mawnin'

Soon one mawnin', Death come a-creepin' in mah room,
Hallelujah! Oh mah Lawd! What shall I do?
Pray, gonna pray, Holly Ghos' come,
Pray, pray till de Holly ghos' come,
I'm so glad dat trouble don' las, always,
Ain' yo' glad, so glad dat trouble don' las' always?
Hush, De Lawd's gonna call mah name,
Hallelujah! Won' yo' hush?
Oh mah Lawd! What shall I do?

5. Ready When He comes

Well, I want to be ready when He comes again,
He's comin' again so soon.
Never let Him catch you at the barroom door,
Never let Him catch you with a tattlin' tongue,
Well, I want to cry "Hold Him" when He comes again,
He's comin' again so soon.

6. Wade in de Water

Wade in de water, wade in de water, children,
God's gonna trouble water. See dut ban'all dresd in red.
Look like a ban' dat Pharaou led. See dut ban' all dressed in white,
Look like a ban' of Israelites.
Wade in de water, wade in de water, children.
God's gonna trouble de water.

7. Little David, Play on yo' Harp

Little David, play on yo' harp, Halelu,
David was a shepherd boy,
He killed Golia and shouted for joy.
Joshua was de son of Nun.
He never-would quit till his work was done.
Little David, play on yo' harp, Halelu!

関西唯一の韓国専門書籍輸入販売

日本語で出版された韓国・朝鮮文献総揃い。



ソウル書林

TEL (06)772-0675

FAX (06)772-0255

営業時間 AM10:00~PM7:00

定休日：日曜日
(祭日は営業)ハングル翻訳及び
ワープロサービス

ビジネス旅館

よし ちょう
吉丁

〒543 大阪市天王寺区上汐3丁目4番16号

電話 (06) 771-6009・6060

(地下鉄谷町九丁目南東百メートル)



皆様、こんばんは。「女コラ」こと、大阪外国語大学女声コーラス部です。

さてさて、今年も女コラはちょっと違います。なんてったって、女コラ史上初めて(かもしれない)、演奏会で着る白ドレを着て新歓をするという快挙(?)を為し遂げたのですから。先輩達からしっかりとパワーを受け継いで燃えに燃えている今年のメンバーを紹介しましょう。

まずは、まだまだ初々しい1回生。かわいい笑顔で練習室をお花畑と変えつつもどこかに見え隠れする女コラ人の素質……。定演では一緒に踊ろうね! 続いて、早くも先輩としての貫禄十分の2回生。最近、彼女達の口から出てくる台詞は時々上回生の予測できる範囲を超えている。1年前、誰がこんな子達だと想像しただろうか……。そして、とってもパワフル3回生。2年前、女コラに旋風を巻き起こしたそのパワーは今も健在。本人達は大人になったと思

っているが、それを告げると先輩達は石と化す。最後に、大御所4回生。今やその一言は下回生にとって天からのお告げと言っても過言ではない。そして、その優しい微笑みは女コラの精神安定剤なのである。

このように、元気いっぱい個性豊かな私たち。来年には成人式を迎えます(女コラは1976年生まれなのです)。私たちらしさを大切にこれからも頑張っていきたいと思っています。

皆様、こんな女コラを今年もどうかよろしくお願いします。

♪指揮者

遊田有香

去年までソプラノのスピーカー的役割を担ってきたあそちゃん先輩。今年から指揮者として女コラを引きずって(私たちはちょっと重い)いくことになった。体力づくりにもぬかりなく、毎朝2台の原付を乗り継ぎ、奈良〜外大間の所要時間の日本新を目指すべく記録更新に励んでいるらしい。その成果は指揮にも反映しているようで、その力強さ、ダイナミックさは彼女のかわいらしさからは想像すら及ばないであろう。しかし、そのありあまるパワーで「**p**(ピアノ)」を振るのは多少困難が伴うらしい。その結果考案されたのが、「**f**(フォルテ)」を振るとき「踊る」というものである。これならたやすく見分けがつくというものであり、私たちとしても好都合なわけである(まじ!?)。そんな彼女もそろそろ記録に限界が見えてきたらしく、次なる野望は専属アッシーを持つことだと思われる。そして今宵、彼女のパワーあふれる指揮にあなたも魅了されるであろう。

♪伴奏者

塚本幸枝



生まれた時から女コラに入る運命だった(昨年の定演のパンフ参照)つかちゃんはある時にはピアニスト、又ある時には歌も歌います。この二つでも十分すごいのに、6月の合唱祭では指揮者デビューまでしてしまいました。そんなスーパーつかちゃんだけど、最近の女コラのメンバーのお笑い路線も受け継いでいて「宝塚よりも吉本が好き」と語っております。そう、スーパーつかちゃんのパワーの源は吉本だったので。(ほんまかいな。)

Message

音楽顧問

松井裕子

大阪音楽大学 声楽科卒。才能教育研究会、行岡保健衛生学園講師。女声合唱「彩」、社会教育団体コーラス部の指揮者。ジョイントリサイタル、サロンコンサート、チャリティーコンサートなどに出演。

第7回東西外国語大学交歓演奏会、おめでとうございます。1982年の第1回より、2年に1度開催し、受け継ぎ育ててこられた皆様のご努力に敬意を表します。1992年、東京での第6回演奏会が3年たった今もまざまざとよみがえってまいります。今年は年始より未曾有の出来事に心を痛める日々が続き、そしてそれぞれの方々に穏やかな日々の暮しがもどってくるまで、まだまだ長い時間が必要でしょう。そのような中、無事に今宵を迎えられ、本当に喜ばしく思います。単独ステージの楽しみはもちろんですが、再会と新しい出会いの喜びのなかで、刺激しあい、溶けあい、高まりあって、どのような合同演奏を聞かせてくださるか、期待しています。

女声合唱組曲「海鳥の詩」

楽譜の始めに、「海鳥のこと」として廣瀬量平氏によってこう書かれています。更科源蔵氏の詩は、辺境の苛酷な自然条件の中に生きねばならぬ者の哀歓を壮重に歌い上げている。歌われているのは鳥たちではあるが、勿論それにとどまるものではなく、人間存在の根源に連なる何かを内包し、同時に多くの人々と共通の願望においてつながっている。私達女コラが「海鳥の詩」を歌おうと決めたのは、「素敵な曲だから」というただそれだけの気持ちでしたが、詩にこめられた想いを歌いあげるといふ目標をもち、私たちの曲に対する姿勢が変わりつつあります。今夜、私たちの歌声が風となり、波音となり、また海鳥の声となって皆様の所へ届きますように。

オロロン鳥

オロロン
オロロンとなげば
岩も
もの言わぬ岩も
オロロンと答える

切岸の
岩棚の
歯の上に
生命あたたため
海を見る
ウミガラス
ウミガラス

ふるさとは
岩の上
雨ふれば
雨にぬれ
陽が照れば
陽にやかれ
風ふけば
骨かれる

水平の
落日に
胸は燃え
海 昏れば
胸しづみ

光をもとめ
南をしたい
たどりつく
ウミガラス
オロロンとなげば
海も
海も岩もオロロンと答える

エトピリカ

濃い霧にめしい
黒々と
波のどよめく
オホーツク
風走る岩棚の
草原に首を振り
海を見 風をきく
エトピリカ

氷の臭いにしびれ
ぎこちなく
カタカタと翼ふるわせ
火を抱いて
ゴーゴーと鳴る
荒潮に生命さぐる
エトピリカ

岩崖の土穴の
幼い生命に
そうそうと
冠毛をなびかせ
目を見張り
霧にもめげずに飛ぶ限り
神はいる

海 鵜
首をのばし
風をきき
首をちぢめ
潮をきく
蒼く寒く
うねりうねる
親潮の
キラキラと
くずれただよう

銀のいろこ

荒磯は
洗いくだけ
底しれず
行方も知れぬ
黒潮の
渦の濃霧は
鉛をのみ
ドロロンとなる

鵜は啼かない
首をのばして
寒流をさぐり
首をちぢめて
暖流をきく

北の海鳥

ふるさとは
キラキラの
光散る
北の海
北の空
オロロン
エトピリカ
ケイマフリ
生と死は
ろんろんと
ゆれ動き
ゆれ返す
深き海底

ごうごうと
重く渦ず巻き
天にとどろく
オーロラの
たゆとう季節

空を行く

笛の音にて
月の夜は
月にぬれ
胸いたみ
口ごもり
息をのむ

みずかきの
冷たくしびれ
落日の
燃えゆく彼方に
あかね色
花を夢みて
鉛色
波をけり
岩をけり
風を呼び
どうどうの
シタキ^{シタキ}に乗り
虹をくぐり

雪を抱く
雲となり
風にまかせ
天と地の
空と海との
人と神
一つにとける
キラキラの
光の彼方
南天の
星をめざすか
北の海鳥

(註) シタキ=雪や雨をとまなう突風

家庭金物荒物・陶器・贈答品
清掃用品・日用大工建築金物

有限会社 大 仙

☎566 摂津市千里丘東2丁目1番6号
TEL (0726)23-2821~2

フタバボウル

年中無休!

営業時間

平日

朝10時より深夜3時まで

但し

- ・土曜日・祝日の前日は朝10時より深夜5時まで
- ・日曜・祝日は朝9時より深夜2時まで

東京外国語大学混声合唱団 コール・ソレイユ



コール・ソレイユの“Soleil”とはどのような意味なのだろうか。手持ちの辞書によると、①太陽、②日光、日なた、③太陽のような人、④ヒマワリ等の意味をもつことば（フランス語）だという。

太陽といえば、穏やかな暖かさと情熱的な熱さを兼ね備えているといえるだろう。その柔らかい日射しを感じるだけで、気分が晴れる幸せの根源であり、一方では力強いエネルギーで全生物を生長させてくれる生命の根源でもある、というイメージが浮かぶ。

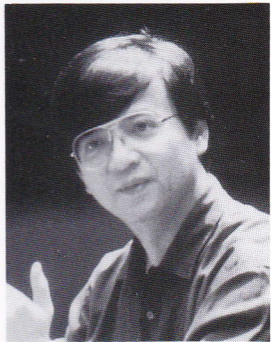
また、向日葵といえば、——今年もまた向日葵が大きな花をつける季節がやってきたが——夏は風物詩の代表とするに十分な程、堂々として、若若しい花としての存在感を持ち、同時に前向きで潑刺とした素朴な力強さも合わせて持っているように感じられる。かの詩人北原白秋も向日葵の

輝くばかりの黄金色や大花輪の香炎、緑の部厚い広葉、太く瑞々しい茎や枝に、生命の活力や個性、芸術性を見出し、向日葵を魅力的な存在だとしている。

先輩方がどのような願いや希望をたくして、コール・ソレイユという名前をつけたのかは明らかでない。しかし、いずれにしても燦々と降り注ぐ太陽の日射しのように情熱的に、明るく輝いて、そして文字通り太陽の方角へと力強く伸びていく向日葵のようにまっすぐに、真摯に、のびのびと歌に、仲間と接していきたい。まさに“Soleil”たらんことを願うのである。

♪指揮者

鈴木 成 夫

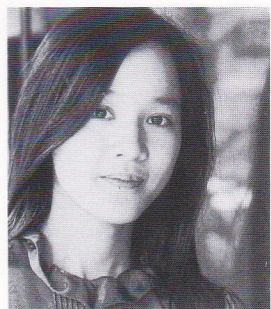


東京芸大出身。「横浜開港130年記念式典」「日本国際賞授賞式典(天皇皇后御前演奏)」等で合唱指揮。現音の初演、CD録音、合唱連盟、NHK等で講習会講師、審査員をつとめる。コール・ソレイユの他、東京大学コーロ・ソーノ合唱団、東京家政大学合唱団フラウエンコール、エオリアン・コール、日の出混声合唱団、リーダー・エーデルシュタイン、コール・フィリアの常任指揮者。95年草津音楽祭合唱指揮者。日本合唱指揮者協会理事・事務局長。

鈴木先生の練習の日は、私たちに緊張感が走ります。何も知らない私たちにもわかりやすい言葉で、時に優しく、時に厳しく、“歌”を教えてください。そのお姿に、私たちは先生の並々ならぬパワーと、限りなくあふれてくる私たちへの愛を感じるのです。そして指揮をする先生の指先に誘われ、いつの間にか“鈴木ワールド”にはまっていって私たちが。ああ先生、いつまでもお体を大切に、そして私たちへとこしえの愛を……。

♪伴奏者

山 内 知 子



桐朋学園大学ピアノ科卒業。ピアノを大村礼子、稲田美代子、三浦浩、三浦捷子、室内楽を中川良平、北爪利世の諸氏に師事。H・ピュイグ・ロジェ女史にも教えを受ける。モーツァルトサロンにおけるベルクのタ、シェーンベルクのタ、モーツァルトシリーズ等に出演。佐々木素女史と2度のピアノデュオ・リサイタルを開催。数多くのソリスト達のほか合唱団との共演も多く、そのアンサンブル能力には定評がある。NHK教育TV「ふえはうたう」レギュラー出演中の他、NHK・FM、TBSなど放送出演も多い。

山内先生のピアノは聴く者を魅了し、その美しい（と一言で単純に表現してしまうにはあまりにももったいない）世界へ誘って下さいます。そして先生御自身の御人柄もまたとても魅力的です。一緒にお話ししているだけで楽しいのですが、やはり先生の本領が発揮されるのは鈴木先生との“夫婦漫才”のときだろう、と思われまふ。（これは絶対一見の価値あり。）まだまだ書き尽くせない先生の魅力、ぜひ御本人を見て御堪能下さいませ。

「はだか」—混声合唱とピアノのための—

鈴木輝昭氏は1958年生まれの若い（と言うべきか？）作曲家で、現在、最も多くの合唱曲の委嘱を受けている一人と言えるでしょう。かく言う私もこの秋に締め切りの曲をお願いしています。彼の才能は以前から誰もが認めるところであったのですが、これまではやや難解な作風からか専門家には評判が良くても一般の合唱愛好家からは支持が薄い傾向があったようです。従って作品もコンクールの自由曲として書かれた技術的に難易度の高い曲が多くなっていたのですが、この「はだか」は一般的なレベルの合唱団が少し苦勞すれば演奏出来、また分かり易い内容で完成度の高い詩をテキストにして、その世界を十分に表現していることからしても、今後たくさんの合唱団に歌われていくことでしょう。94年12月、帝京大学混声合唱部コーラルソサエティ（指揮・田中明、ピアノ・田中千香子）によって初演されたばかりの新しい曲です。

むかしむかし

むかしむかしぼくがいた
すつばだかめでをきよろぎせていた
いまのたいようとおなじたいようが
あおぞらのまんなかでぎらついでいて
いまのかぜとおなじかせが
くきのうえをきあつとふいてきた
がつこはなかつたけれどぼくはいた
おもちゃはなかつたけれどあそんだ
ほんはなかつたけれどかんがえた
はんばーくはなかつたけれどうちをした
さびしくなるとなぜかわからずにいた
おかしいときはなにもわからずにわらった
おなかにあるおへそがふしぎで
いつもゆびでさわりながらむった
そしてゆめのなかではべびのあめがふり
ぼくはうまれたりしんだりした
むかしむかしどこかにぼくがいた
いまここにぼくはいる

はだか

ひとりであるすばんをしていたひるま
きゆうにはだかになりたくなつた
あたまからふくをぬいで
したきもぬいでばんていもぬいで
くつしたもぬいだ
よるおふろにはいるときとぜんぜんちがう
すこむねがどきどきして
さむくないのうでともにも
さむいほがなつてゐる
ぬいだふくがあしもとでいきものみたい
わたしのからだのにおいが
もわつとのぼつてくる
おなかをみるとすべすべと
とこまでもつづいてゐる
おひさまがあたつていてもえるようだ
じぶんのからだにさわるのがこわい
わたしはじめんにかじりつきたい
わたしはそらにとけていってしまいたい

ひとり

ほんとってほしいのおねがいだから
 めをつむるわなにもみえないように
 みみをふさぐわくちもつぐむわ
 でもこころはなくしてしまえないから
 おもいだしてしまうのつらいこと
 わたしをいじめるあなたにはくれない
 あなたもほかのだからにいじめられている
 そのほかのだからかもまたもつとほかのだからに
 わたしたちはみんないじめられてる
 めにみえないぶよぶよしたものに
 おとなたちがきづかずにつくっているものに
 おかあさんのなくさめもうるさいだけ
 おとうさんのほげましもうつとしいだだけ
 だからいまはただひとりにしておいて
 ほんのすこしだけしんでほしいの
 ほんとにしぬのはわるいことだから
 おんがくもきかずにあおぞらもみずに
 わたしひとりでもくせいまでいてくるわ

きみ

きみはほくのとなりでねむっている
しやつがめくれておへそがみえている
ねむっているのではなくてしんでるのだったら
どんなにうれいだろう
きみはもうじぶんのことしかかんがえていないめで
じつとほくをみつめることもないし
ほくのきらいなあべといっしょに
かわへおよぎにいくこともないのだ
きみがそばへくるときみのおいがして
ほくはむねがどきどきしてくる
ゆうべゆめのなかでほくときみは
ふたりつきりでせんそうにいった
おかあさんのこともおとうさんのことも
がっこうのこともわすれていた
ふたりともうしぬのだとおもった
しんだきみといつまでもいきようとおもった
きみとともだちになんかなりたくない
ほくはただきみがすきなだけだ

三田屋本店

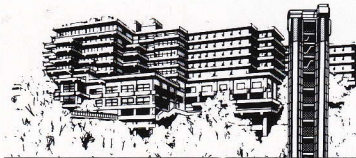
— やすらぎの郷 — 川西萩原台

川西市萩原台西3丁目1-2
(萩原壺番館2F)

★御予約 0727-57-1448

Suburban Resort

星の輝きと1000万ドルの夜景を眼下に……
快適なホテルライフをお約束する 宴 空間



- 女性専用露天風呂
- 和食レストラン
日本料理「花暦」
- 洋食レストラン
「コックド・オール」

政府登録ホテル〈別館・元桂公爵別邸〉



箕面観光ホテル

〒562 箕面市温泉町1-1/TEL (0727) 23-2323〈代表〉



客演指揮 山本 壽太郎

大阪音楽大学ピアノ科卒。神沢哲郎、清水脩氏に師事。昭和47、52年ピアノリサイタルを開催。

昭和60年 地域文化功労者文部大臣表彰、昭和62年 全日本合唱連盟創立40周年記念表彰並びに長井賞「団表彰」、昭和63年 奈良県芸術選奨等を受賞する。

現在、奈良県合唱連盟理事長、関西合唱連盟理事、奈良市音楽協会会長、奈良少年少女合唱団団長。尚、混声合唱団「陽声会」「陽声たまゆら会」主宰。他に、女声合唱団「花梨」、奈良朝日カルチャー女声コーラス、奈良女声合唱団「愛華」の指揮をしている。1990年カーネギーホール、1995年ウィーン楽友協会ホールにおいて演奏会を開催。

東西両外大のジョイントに寄せて

奈良県合唱連盟理事長 山本 壽太郎

大阪外国語大学と云いますと、深いご縁があります。まず私の恩師であります元全日本合唱連盟理事長の清水脩先生の出身校であり、又コーラスの同僚仲間も多勢いるので特に親しみを持っていることです。そして第1回の東西合同のタクトをもったことも懐かしい思い出の一コマを甦らせています。

合宿はたしか車山高原でした。合同曲、湯山昭作曲の「コタンの歌」清澄な空気、新鮮な緑は絶好の環境が気分を昂めてくれました。

この度再び、この機会に恵まれました。新実徳英作曲の「青春のネガティブ」をもって、私にとって前回の再現が出来ることを心より嬉しく思っています。

この事を企画してくれた諸君に感謝しています。良いステージが努まる様、精一杯力を注ぎたいと願っています。

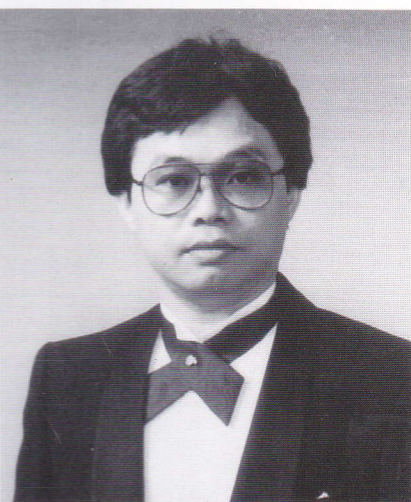
客演伴奏 栗田 清隆

大阪芸術大学音楽教育学科卒、同専攻科修了。

ピアノを伊藤ルミ、龍野順義、アゴナーシュ・ジョルジュの諸氏に師事。ザルツブルグ・サマーアカデミーにて伴奏法をポール・シルハウスキー氏に師事。

ピアノ名曲のタベ、フレッシュアーチストコンサート等に出演。朝日カルチャー、NHK文化センターにおいて講座ピアニストを務めるほか、歌曲、オペラ、合唱などの伴奏者として活躍中。

日本演奏連盟会員。奈良市音楽協会会員。



演奏するということは、延々と続く時の流れからみると一瞬の花火のようなものではないでしょうか。

東西の離れた大学がこの瞬間のために費やした労力というのは大変なものだと思いますが、各人の想いをこめた大きな花火をご来場の皆様楽しんで頂ければ幸いです。そしてこの瞬間が各大学各団の次へのステップとなり、又この交歓演奏会が10回、20回と続いていくことを願っています。皆様ご声援ください。

混声合唱組曲「青春のネガティブ」

どこにも存在しない街へ

いつか

どこにも存在しない街を
ぼくはかならず見出すでしょう

どこにも存在しない街の

空は澄み

川は清らかに流れて

そこに

やすらかなあなたの笑顔

どこにも存在しない街に

雨が降り

土が豊かに潤い

そこに

虹を追うあなたの笑顔

どこにも存在しない街で

花は咲き

人は愛の歌うたつて

そこに

晴れやかなあなたの笑顔

いつか

どこにも存在しない街で

ぼくはあなたに巡り会おうでしょう

そして

どこにも存在しない街で

ぼくはあなたを愛するでしょう

まだ見ぬ人に

たとえ花の美しさを

歌うことはできても

あなたの輝きを

歌うことはできない

たとえ風の激しさを

語ることはできても

あなたの勇気を

語ることはできない

たとえ海の深さを

測ることはできても

あなたのやさしさを

測ることはできない

花よりも香しく

風よりも軽やかに

海よりもさやかに

あなたは生きる

あなたが愛する花と

あなたが仰ぐ空と

あなたが旅する海と

ひとつになれるなら

どこまでも

旅して行こう

いつまでも

生命のあるかぎり

愛のネガティブ

フラッシュが光り

シャッターが降りる

青春のはなやぎを背に

あざやかに切りとられた一瞬

そこに かすかな愛いの影を宿して

君が立っている

思い出は二度と

帰ってはこない

青春を燃やし尽くし

美しく演じきった一瞬

そこに 涙と流れる汗にまみれた

君が立っている

旅立ちはいつも

新しい期待

青春を力のかぎり

高らかに唱い上げた一瞬

そこに 遙かにあしたを見つめ続ける

君が立っている

アルバムに残った

三枚のスナップショット

それは

告白されなかった

愛のネガティブ

架空の時を

いつか

そんな時を

迎えることが

できるだろうか

自分を飾らず素直に

あなたと向きあえる時を

いつか

そんな時を

過すことが

できるだろうか

昨日のすべてを捨て去り

明日と向きあえる時を

いつか

そんな時を

語ることが

できるだろうか

きびしい試練を乗り越え

希望と向きあえる時を

いつか

そんな時を

思い出すことが

できるだろうか

生命の炎を燃やして

若さと向きあった時を

反語

絶望を知らない者に

希望を語ることはできない

冬の寒さが 春の芽吹きを運んでくるように

悲しみのどん底にいて

はじめて喜びの歌がうたえる

憎しみを知らない者に

人を愛することはできない

別れのつらさが 出会いの輝きを際立たせるように

ためらいと迷いはてに

はじめて信じあう時が過こせる

君の絶望はどれほどか

どれほどの悲しみを君は耐えたか

憎しみのげしさに

ためらいと迷いに君は身をこがしたか

希望を語り

喜びをうたい

人を愛し

信じあうために

君は生きる

今を生命のかぎり

Members

♪指揮者 #部長

東京外国語大学混声合唱団 コール・ソレイユ

Soprano

溝手 知子 (E3・千葉 東)
内田 裕子 (M3・四日市南)
仲 真由美 (J3・札幌 北)
瀧本 晴世 (D2・今治 西)
西村 立子 (S2・新潟 湯)
増田 彌奈子 (RR2・浦和明の星女子)
井上 奈欧子 (C1・創 価)
野呂 麻子 (I1・川越女子)
山内 晶子 (C1・八王子東)

Alto

高柳 理恵 (K3・小石川)
時松 美津子 (S3・沼津 東)
#長 島 綾子 (Ma3・新潟 南)
川田 悦代 (Ph2・東京 葛飾)
西田 久美 (C2・川 和)
吉田 佳奈 (F2・安古市)
渡辺 聡子 (D2・カリタス女子)
杉本 奈穂 (E1・磐田 南)
野中 容子 (I1・大 宮)
肥後 裕希 (RR1・松江 北)
宮 崎 亜希 (C1・淑徳与野)

Tenor

大場 岳男 (RR4・芝浦工大柏)
川端 大哉 (A2・高 田)
坂野 有紀 (C2・札幌旭丘)
柴田 健太郎 (RR2・大垣 北)
平田 忠 (S2・岡山城東)
山田 毅 (C2・桐 朋)
神岡 一夫 (RR1・長 岡)

Bass

♪舟越 真雄 (院2・松江 北)
田中 雅信 (C3・浅 野)
与良 敦志 (S3・野沢 北)
加藤 一志 (D2・松江 北)
花坂 耕治 (K2・膳 所)

A: アラビア語 C: 中国語 Cz: チェコ語 D: ドイツ語 E: 英語 F: フランス語 I: イタリア語 J: 日本語
K: 朝鮮語 M: モンゴル語 Ma: マレーシア語 Ph: フィリピン語 RR: ロシア語 S: スペイン語

大阪外国語大学グリークラブ

Top Tenor

森野 良典 (K7・北須磨)
紺野 一彦 (地R2・仙台三)
松尾 年展 (地V1・希望学園札幌北嶺)

Second Tenor

#大木 周 (E4・春日丘)
尾上 剛 (国R2・尼崎 東)

Baritone

山口 壮 (D7・津 西)
♪松波 大介 (地R3・生 野)

Bass

三森 良太 (地S3・金沢二水)

大阪外国語大学女声コーラス部

Soprano

上条 美和子 (R4・松本深志) 休部中
♪遊田 有香 (国PH3・平 城)
木藤 康子 (国S3・沼津 東)
楠元 亜矢子 (国R2・北 野)
野村 瑠奈 (地S1・金沢泉丘)

Mezzo Soprano

渡辺 ゆみ (D4・大 田) 休部中
#二木 香 (地C3・岸和田)
森本 安紀 (地D3・兵庫 庫)
塚本 幸枝 (地D2・茨 木)
木村 智子 (地E1・豊 中)
柴山 育枝 (地SD1・千 種)

Alto

徳原 由美子 (E4・大阪女学院) 休部中
安井 美智子 (A4・大教大附属平野)
渡辺 かおり (国S3・金蘭千里)
草間 紗織 (地E1・松本深志)

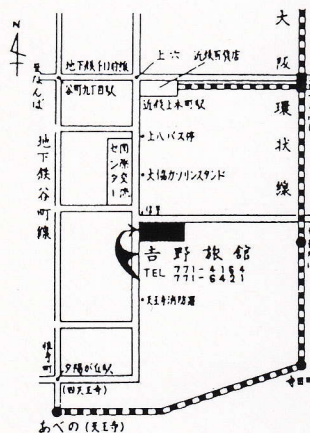
A: アラビア語 C: 中国語 D: ドイツ語 E: 英語 K: 朝鮮語 PH: フィリピン語 R: ロシア語 S: スペイン語
SD: スウェーデン語 V: ベトナム語 地: 地域文化学科 国: 国際文化学科

ご宿泊・ご宴会・コンパ合宿に
日本観光旅館連盟会員・大阪市観光協会会員
日本交通公社協定・近畿日本ツーリスト協定
観光とビジネス

吉野旅館

大阪市天王寺区上本町 8-4-18

TEL (06) 771-4164 (代)



定期演奏会のお知らせ

東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユ

第21回 定期演奏会 1995年12月20日(水) 北とぴあ さくらホール

大阪外国語大学グリークラブ

第39回 定期演奏会 1995年12月9日(土) 箕面文化センター大会議室
(予定)

大阪外国語大学女声コーラス部

第19回 定期演奏会 1995年11月25日(土) 大阪府立労働センターエル・シアター

YAMAHA

SENRI

〒565 豊中市新千里東町1-3-142

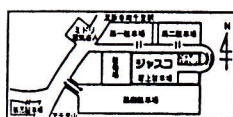
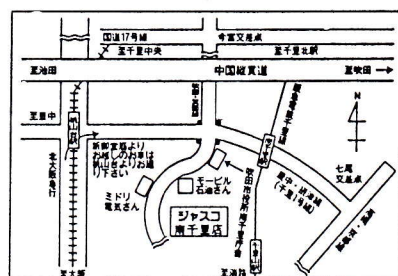
☎ 06-831-6776

(株)ヤマハプランズ大阪

編集後記

普段、何気なく見ていたパンフレット。今回、編集の仕事を担当してその「奥の深さ」を知りました。遠く離れた団とのジョイントコンサート。原稿依頼やさまざまな連絡・質問で何度も電話、手紙を交わしました。そして神戸の自宅からパズルのように交通手段をつなぎ合わせて通った初芝文庫、そこから箕面までの大阪縦断の道。今振り返れば、どれも良い思い出です。地味だけれどこのパンフレットが団員にとっても、今日聴きにきて下さった方々にとってもこのコンサートを思い出す小さなかけ橋 (Arch) となれば幸いです。

最後になりましたが、このような2年に1度のコンサートのパンフ作成を担当できたことに感謝し、快く広告を掲載して下さいました広告主の皆様、初芝文庫の皆様、このパンフレット作成に協力して下さいましたすべての方々に心より御礼申し上げます。



駐車場ご案内
■ 無料駐車場
800台収容

JUSCO

ジャスコ南千里店

吹田市千里山西6丁目56番1号 TEL 06(337)2111

本場サッポロがここにある!!

北海道ラーメン



箕面市西小路5-5-5 (箕面市役所南側)

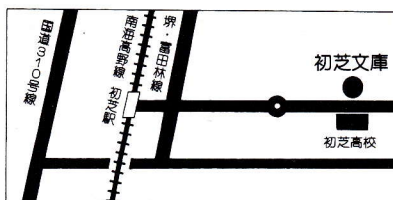
11:30~14:00, 17:00~23:30 水曜日定休

☎ (0727) 23-1718

演奏会・大学祭などのチケット・パンフレット・ポスター等の印刷のご相談お受けします

当社には営業部はありません。全部技術社員のみです。

従って当社の印刷代金には営業費は含まれていません。ご相談にはご遠慮なくお越し下さい。



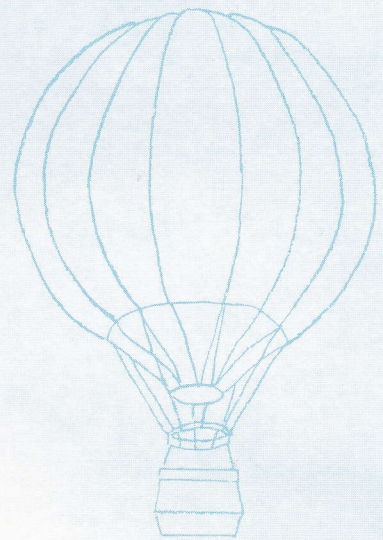
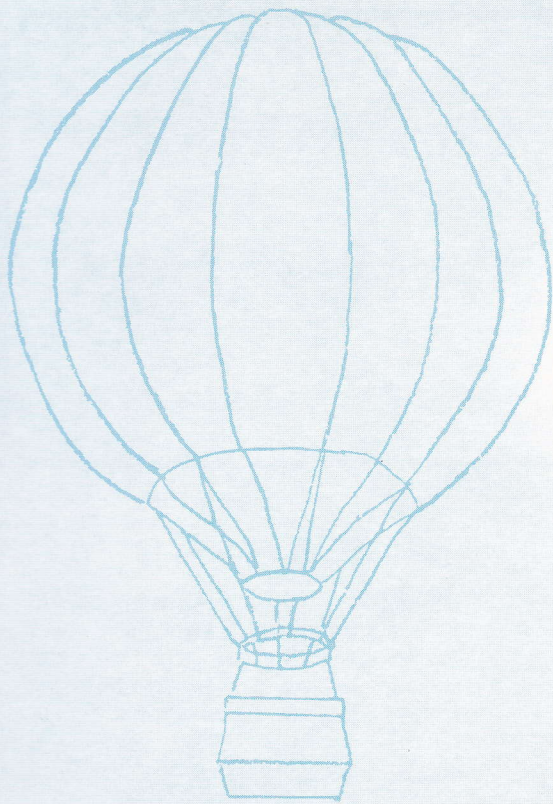
南河野線初芝駅下車東へ徒歩10分(初芝高校正門前)

企画・写真撮影・デザイン・カラー分解・製版・印刷の一貫作業

株式会社 初芝文庫印刷部

〒591 堺市日置荘西町50-13

☎ 0722-85-0466 (代)



1995年7月29日(土)

大阪国際交流センター大ホール

**後援 JCD 日本合唱指揮者協会
大阪府合唱連盟**

東京外国語大学混声合唱団コール・ソレイユ
大阪外国語大学グリークラブ
大阪外国語大学女声コーラス部